

(2021年度) グリーンファイナンスモデル事例創出事業

- **Zエナジー株式会社**が運営するファンドをモデル性を有するインパクト・ファイナンス（インパクト特定型）として選定。

インパクト・ファイナンス概要

- **名称**：カーボンニュートラルファンド（CNF）
- **運営者**：Zエナジー株式会社

GSG国内諮問委員会IMMワーキンググループ「インパクト測定・マネジメントに係る指針」及び「インパクト投資におけるインパクト測定・マネジメント実践ガイドブック」に沿ってインパクト投資を実践

再エネ普及・拡大にあたっての課題解決を実現



投資戦略：

再エネの普及・拡大に向けた課題解決を通じて日本の脱炭素に貢献することを目指し、インパクト戦略（Theory of Change）を策定。再エネの制度・技術の進展に合わせて4つのSTAGEを計画

組成・ストラクチャリング：

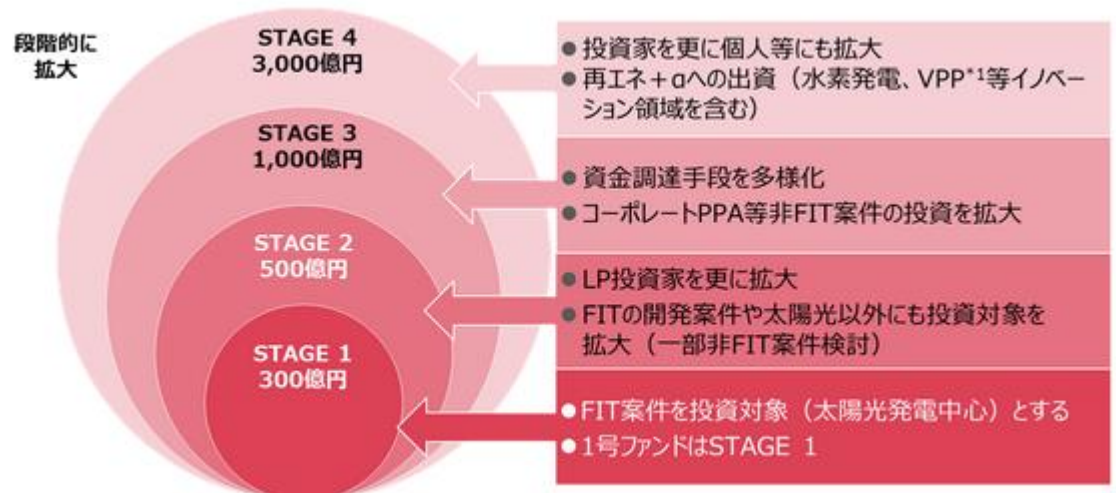
戦略に基づき各STAGEにおいてファンドを設定し、SDGsに関連付けてインパクト・アウトカムを特定し、KPIを定める。個別ファンドにおいては、投資対象アセットごとに赤道原則等のノウハウを活用してネガティブインパクトのリスクを評価

モニタリング・エンゲージメント：

KPIで再エネの発電量や供給状況をモニタリングすると同時に、Zエナジーの株主や投資家を中心に再エネ需要家の育成・拡大を図る

売却判断・レポートイング：

KPIの実績と変動要因などを報告。第1号ファンドではFIT期間満了後も発電設備を稼働させ再エネ電力の供給を継続すべく、運用期間終了日までにCNFの後続ファンドに引き継ぐ方針



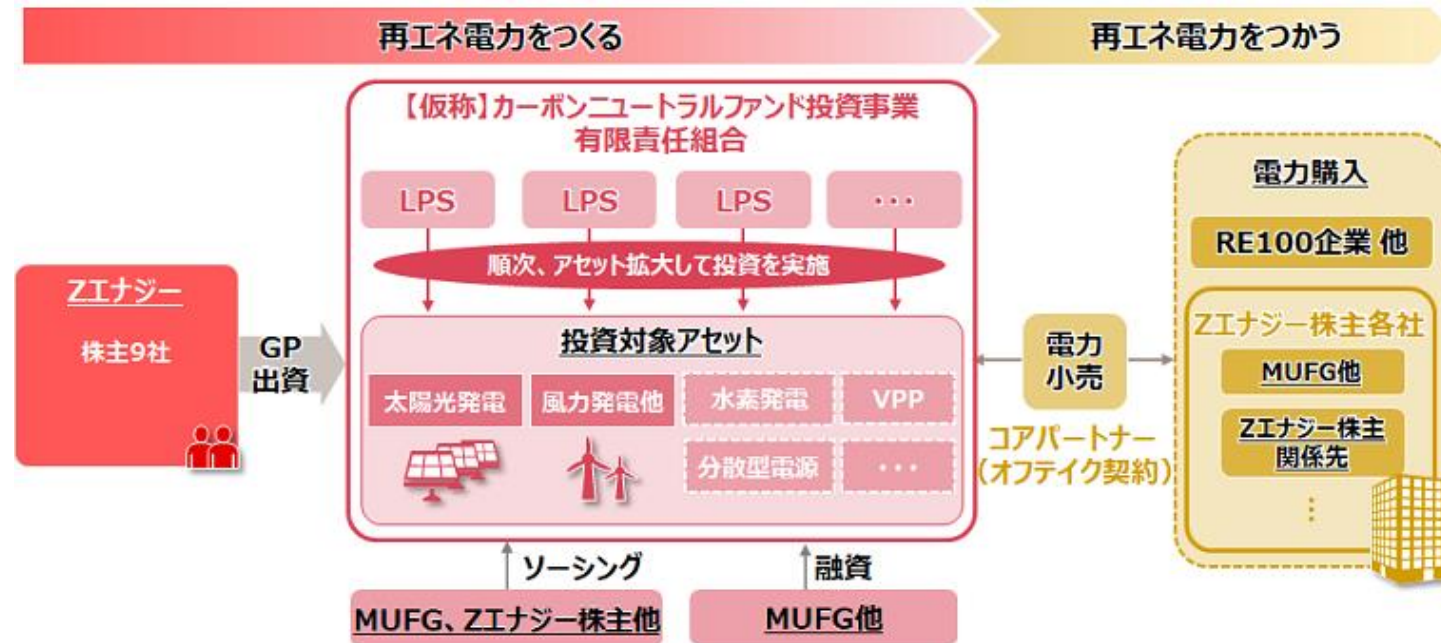
第1号ファンド調達計画 2021年12月
 金額:300億円（予定） 期間:25年 投資対象:FIT案件

[出所：Zエナジー <https://zet.energy>]

(2021年度) グリーンファイナンスモデル事例創出事業

- **Zエナジー株式会社**が運営するファンドをモデル性を有するインパクト・ファイナンス（インパクト特定型）として選定。

Zエナジーによるファンド運営の概念図



- GPはGeneral Partnerの略。ファンドの運用主体となる無限責任組合員のことをいう
- LPSはLimited Partnershipの略。GPとファンドの出資者となる有限責任組合員（Limited Partner: LP）によって構成される投資事業有限責任組合のことをいう
- LPがCNFの投資家にあたる

[出所：Zエナジー作成]

<モデル性>

- ①投資戦略：意図したインパクトの実現のために、再エネの需要家を含めた多様な市場・業界関係者を広く巻き込んだ長期戦略をバックカスティングで描いている点が、様々な関係者の協力を必要とする領域においてインパクト戦略を立案する際の参考になる。
- ②組成・ストラクチャリング：本年度運用を開始する第1号ファンドは25年の長期の運用期間を設定しており、5年から10年程度の運用が一般的な再エネ投資ファンドに比べて投資判断が極めて難しくなるところ、インパクトの実現を投資家と共有することにより資金を集めるという点で、長期のインパクト・ファイナンスのモデルケースとなり得る。
- ③モニタリング・エンゲージメント：再エネの技術、調査、開発、小売、需要家、マネジメント、ファイナンスなど多方面の企業から成るZエナジーの株主が知見を共有・活用することにより、意図したインパクトの発現を早めようとする能動的なファンド運営に新規性がある。